

麻生区区民会議 第 1 回企画部会 議事要旨

1 開催日時 平成 22 年 9 月 6 日（月）午後 1 時 30 分～午後 4 時 20 分

2 開催場所 麻生区役所第 1 会議室

3 出席者 [企画部会委員]

天野委員、金光委員、田中委員、土井委員、柳島委員
（欠席）武濤委員

[その他参加委員]

魚本委員、菅原委員、竹市委員、東川委員、福田委員

[事務局]

安生企画課長、阿部企画課担当係長

4 傍聴者 1 人

5 議 事

(1) 正副部会長の選出について

【説明事項】

- ・事務局より、企画部会正副部会長の業務、企画部会の役割を説明。

【決定事項】

- ・企画部会部会長＝金光委員、企画部会副部会長＝天野委員に決定。

(2) 広報・広聴活動について

ア 区民会議ニュースについて

【決定事項】

- ・企画部会は、全体会議の後に区民会議ニュースを原則発行する。
部会内での各委員の役割分担については、次回部会にて決定。
- ・第 1 号は、第 1 回、第 2 回全体会議をまとめた形で発行する（事務局で素案作成）。
- ・市政だより及びホームページへの掲載による広報も引き続き事務局で行う。

【主な意見】

- ・区民会議そのものが実質、区民によく知られていない。区民に浸透させていくためにはもっとアピールし、その広報のあり方とともに手法を検討していく必要がある。
- ・ホームページの具体的改善要望として「会議等の掲載順を昇順から降順にする」必要がある。

イ 傍聴者アンケートについて

【決定事項】

- ・案のとおりので区民会議全体会議及び各部会の傍聴者からアンケートをとる。

(3) 第2回区民会議について

ア 次第について

【決定事項】

- ・議事内容は、本日の企画部会の内容報告と「川崎再生フロンティアプラン第3期実行計画（平成23～25年度の市の事業施策の総合計画）素案」の紹介。
- ・会議時間については、15時～17時に設定する。

(その他)

- ・会議終了後に懇親会を開催する。出欠については事務局より募る。

イ 役割分担等について

【決定事項】

- ・企画部会の報告については、天野副部会長から行う。

(4) 第3期の調査審議課題について

ア 課題の選定並びに専門部会の設置について

【説明事項】

- ・事務局より配布資料「川崎再生フロンティアプラン7つの基本政策による分類」の説明。

【主な意見】

- ・目標や課題を選び出す手法としての「系統図法」について、委員から紹介。
- ・各委員から出された調査審議課題を2つの大きな括りでまとめ、具体的に取り組む審議課題の取捨選択は各専門部会に任せて行う。
- ・課題について、すでに協議会等を設置して実践しているものもあるが、形としてのシステムだけできあがっても機能が不十分のものもある。そうしたものは、人が参加しやすい環境を作っていく必要がある。
- ・区民会議が市民の関心を引かないのは、理屈ばかりで小さな活動に携わらないからではないか。
- ・区役所の事業について、予算化を求める意見を言える場所が他にない。
- ・具体的に区民に発信する（アピールする、売りになる）活動も取り入れたい。
- ・区民会議の活動で大事なものは、「一般の区民」にいかに関心を持ってもらい、自主的に積極的に参加してもらおうかという事と考える。そのためには、地域の町会長にも興味を持ってもらい、町会単位で活動を推進していってもらおう事も大事である。
- ・活動の担い手については、市民活動サポートセンターの運営するやまゆりにおいても成果がある。区民会議の取り組みにおいても、担い手を作るのは必要なことである。
- ・一部の活動は、既存の活動に区民会議が協力する、という形で実施する。
(例：区制30周年行事等)
- ・区民会議が取り組む各調査審議課題についてはいずれも、課題の担い手の発掘と育成を意識する必要がある。特に市民へのアピールと参加促進のためには、町会・

自治会の協力を求めていく。各専門部会での取り組みの際、「町会・自治会との連携」も考慮する。⇒審議課題34として 資料4に追加する。

- ・各委員はそれぞれが携わっている市民活動等に縛られず、一区民会議委員として全体で何をやっていくのかを考えるべきである。

【決定事項】

- ・上記議論を踏まえ、次の2部会を企画部会案として取りまとめた。

①「地域交流・文化部会」

川崎再生フロンティアプラン7つの基本政策の分類 I～Ⅲ、Ⅵ、Ⅶの部分

②「環境・緑化部会」

川崎再生フロンティアプラン7つの基本政策の分類 IVの部分

※ 川崎再生フロンティアプラン7つの基本政策の分類について

I：安全で快適に暮らすまちづくり

II：幸せな暮らしをともに支えるまちづくり

III：人を育て心を育むまちづくり

IV：環境を守り自然と調和したまちづくり

V：活力にあふれ躍動するまちづくり（←今回、該当する提出課題なし）

VI：個性と魅力が輝くまちづくり

VII：参加と協働による市民自治のまちづくり

- ・第3期の全体テーマについては、今後、各専門部会の状況も見ながら、次回の企画部会で検討する。

(5) その他

ア 今後の流れの確認

【説明事項】

- ・本日の企画部会の報告事項を第2回全体会議で諮り、承認された上で、各委員から「どちらの部会に参加したいか」の希望調査を事務局で行う。
- ・各部会を10月下旬～11月上旬に開催し、企画部会は各部会が開催された後に各部会長も含めて行う。